

香川大学整形外科で人工股関節置換術を受けられた患者さんへ (後ろ向き観察研究へのご協力をお願い)

当院では以下の臨床研究を実施しておりますが、この研究は通常の診察で得られた過去の診療記録をまとめることにより行います。本研究は香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得て行うものです。文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さん一人一人からの同意を必ずしも必要とせず、研究内容の情報を公開し、必要に応じて研究への参加を拒否できる機会を保證することが必要とされています。

研究課題名：寛骨臼骨切り術における術後成績調査

研究機関：香川大学医学部附属病院 整形外科

研究責任者：鷲村 将志（リハビリテーション部病院助教）

研究の目的及び意義

行った医療の治療成績をまとめて報告することは医療機関に所属する治療担当者の責務です。寛骨臼骨切り術は整形外科において頻度が高く、当院における施行実績も豊富な術式です。本研究では当院および関連施設にて寛骨臼骨切り術を施行した症例の術後成績を調査し、得られた結果を今後の股関節治療に役立てたいと考えています。

対象となる患者さん

1987年1月から2024年12月末までに当院及び下記研究組織にて寛骨臼骨切り術を受けられた患者さん

研究方法

疼痛や歩行能力、股関節可動域などの臨床症状の変化について診療録より情報を集めて調査を行います。またX線画像などから関節症の状態や、周囲の骨の変化などを評価します。患者さんに改めて検査や治療をお願いするものではありません。

利用する検体・診療情報

診療情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果、血液検査、画像検査、病歴

個人情報の保護

連結可能な匿名化を行い、利用する情報からは、お名前、ご住所など患者さんを特定できる個人情報は削除して管理します。また研究成果は学会発表や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さん個人を特定できる個人情報は利用しません。

外部からの検体・診療情報の提供

利用する外部施設所持の診療情報等は、患者さん個人が特定できない状態とし、郵送及び電子システムを使用して、下記の研究組織より本学へ提供されます。

研究組織

キナシ大林病院 真鍋 健史

ご自身の情報の利用を承諾いただけない場合は研究対象とはいたしませんので、下記連絡先までご連絡ください。この場合も診療などで不利益を被ることは決してありません。論文等で発表後は使用を取りやめることは出来ませんのでご了承ください。

また、対象となる患者さんがご自身に関する情報や研究に関する詳細を知りたい場合、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障がない限り、情報を開示しますので、下記連絡先までご連絡ください。

連絡先

香川県木田郡三木町池戸1750-1

香川大学医学部附属病院 リハビリテーション部 担当医師：鷹村 将志

電話番号：087-891-2195

FAX：087-891-2196